

「グリーン志向」の消費者 3 箇条

気候変動などの環境問題は、
本当に「**遠い未来**」のこと？
考えてみよう

- 2024年の日本の夏は、観測史上最も暑い夏でした。さらに、迷走する台風やゲリラ豪雨、それに伴う洪水などの自然災害も増えています。2050年に起きると予測されていた異常気象が、2024年時点ですでに現実のものとなり、**気候変動は今この瞬間も進行しています**。
- 今日生まれたこどもたちが大人になる頃**は、本当に、「いつかの、遠い未来の問題」でしょうか？

毎日の暮らしの中から
「**グリーン**」を探してみよう

- 毎日繰り返す、選ぶ、使う、手放す、などの様々な「消費行動」の中に、「グリーン」を取り入れることができます。たとえば、買物の時に、「グリーン」を示す環境ラベル・マークがついているものを探してみたり、使い捨てプラスチックの使用を減らしたり。
- 日々の生活をまるごと見直すのは大変ですが、まずは、たとえば、**プレゼントや特別なときの買物、新生活の始まりなどのライフスタイルの変化をきっかけに、「グリーン」を取り入れてみる**のも一案です。

自分が実践する「グリーン」について、
「**自分にいい**」と「**世界にいい**」の
両方を語ってみよう

- たとえば、ゴミになる部分が少ない商品を選ぶのは、便利（＝自分にいい）、かつ、製造から廃棄までの過程で生じるCO2排出量削減（＝世界にいい）につながります。「**世界にいい**」ことは、**必ずしも、消費者一人一人の我慢が求められるものではありません**。
- 自分が「これだ」と思う「グリーン」を、身近な人に、さらには多くの消費者や企業に向けて、SNSやアンケートを通して発信してみましょう。